

観光立県沖繩の契機となった50年 "海洋博"から

ソフトパワー(自然・歴史・文化)の活用による"今"と"未来"の沖繩の姿へ

令和7年度に海洋博開催50周年を迎えるにあたり、海洋博について、当時を知らない世代の人たちにも知ってもらい、観光振興の意義に対する県民の理解促進を図ることを目的に、海洋博に係るシンポジウムを開催致します。

入場無料

日時 2025. 8/21(木) 14:00 開場
15:00 開始
18:00 終了

場所 沖縄県立博物館・美術館 講堂
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1-1

当日はオンライン配信も実施します。視聴方法は県ホームページをご確認ください。

内容

基調講演①

「海洋博開催を起点とした、沖縄観光の歩みと今後の展望」
講師：湧川 盛順 氏

基調講演②

(さちぬゆ) 「土地の記憶と先の世 ―祖父と私と集落の50年―」
講師：仲本 いつ美 氏

学生プレゼンテーション

名桜大学国際観光産業学科

パネルディスカッション

海、自然、歴史、文化 ― 沖縄観光の望ましい未来を考える



基調講演①



「海洋博開催を起点とした、
沖縄観光の歩みと今後の展望」

一般財団法人
沖縄美ら島財団理事長
湧川 盛順 氏

基調講演②



(さちぬゆ) 「土地の記憶と先の世
―祖父と私と集落の50年―」

株式会社Endemic Garden H
代表取締役
仲本 いつ美 氏

パネルディスカッション



琉球大学名誉教授
高良 倉吉 氏



(株)ジャパンエンター
テイメント事業開発本部
ディレクター
宮里 大八 氏



名桜大学 国際学部
国際観光産業学科
教授
大谷 健太郎 氏



司会 澤花 氏

参加のお申し込みは
こちらから(※定員200名)



海洋博50周年シンポジウム 検索

プログラム

| 時間 | 内容 | 出演 |
|-------|--|---|
| 15:00 | 開会挨拶 | 沖縄県知事 玉城デニー MC: 瀧花氏 |
| 15:05 | 映像 「海その望ましい未来 今よみがえる記録」上映 | |
| 15:20 | 基調講演① 「海洋博開催を起点とした、 沖縄観光の歩みと今後の展望」 | 一般財団法人 沖縄美ら島財団理事長 湧川 盛順氏 |
| 15:50 | 基調講演② 「土地の記憶と先の世 —祖父と私と集落の50年—」 | 株式会社 Endemic Garden H 代表取締役 仲本 いつ美氏 |
| 16:20 | 休憩 | |
| 16:35 | 学生プレゼンテーション | 名城大学 国際学部 国際観光産業学科 |
| 16:55 | パネルディスカッション 海、自然、歴史、文化 — 沖縄観光の望ましい未来を考える | ファシリテーター 名城大学 国際学部 国際観光 産業学科教授 大谷 健太郎氏 パネリスト 沖縄美ら島財団理事長 湧川 盛順氏 株式会社 Endemic Garden H 代表取締役 仲本 いつ美氏 琉球大学 名誉教授 高良 倉吉氏 ジャパンエンターテイメント 事業開発本部 事業開発課ディレクター 宮里 大八氏 |
| 17:40 | 閉会 | |

基調講演者プロフィール



一般財団法人 沖縄美ら島財団理事長

湧川 盛順氏

昭和60年4月沖縄県庁入庁。平成25年度沖縄県文化観光スポーツ部長を務めた後、沖縄県からの出向として那覇空港ビルディング株式会社専務取締役、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー専務理事を歴任。退職後は、株式会社沖縄県物産公社取締役社長を務める。令和3年度より一般財団法人沖縄美ら島財団専務理事に就任、令和4年度から専務理事を務めた後、令和6年6月より現職。

パネルディスカッションにも参加

株式会社Endemic Garden H 代表取締役

仲本 いつ美氏

沖縄県国頭村生まれ。県内大学卒業後、国頭村役場に入庁。地域課題の解決に携わる中で、国頭・大宜味・東村の3村による世界自然遺産登録への取り組みに関わる。「自然環境や文化を次世代へつなげるためには、地域の誇りを観光と結びつけ、観光で得られる恩恵を地域に還元する仕組みが必要」と考え、地域と観光客をつなぐコーディネーターを志して退職。

2019年、地元国頭村で地域限定旅行社「やんばるツアーズ」を設立。2021年2月、国頭村の宿泊施設「奥やんばるの里」指定管理を開始。2022年8月、「やんばるホテル南浜森室」をグランドオープン。国頭村謝敷集落に2棟、大宜味村喜如嘉集落に2棟を順次開業。2025年12月には、国頭村謝敷集落に1棟、辺戸集落に1棟を新たに開業予定。

パネルディスカッションにも参加



登壇者プロフィール



パネリスト

琉球大学名誉教授（文学博士・琉球史） 高良 倉吉氏

1947年(昭和22)、沖縄県伊是名島生まれ、南大東島育ち
1971年(昭和46)、愛知教育大学卒業
1973年(昭和48)、沖縄県沖縄史料編纂所(専門員)
1987年(昭和62)、沖縄県立博物館(主査)
1988年(昭和63)、浦添市立図書館(館長)
1994年(平成6)、琉球大学法文学部教授(2013年3月まで)
2013年(平成25)、沖縄県副知事(2014年12月まで)
2019年(令和1)、首里城復元に向けた技術検討委員会委員長



パネリスト

(株)ジャパンエンターテイメント事業開発本部 ディレクター

宮里 大八氏

1974年沖縄県本部町備瀬出身。琉球大学工学部卒、沖縄国際大学大学院修士課程修了(経済学)。
2010年全国イノベーションコーディネータ賞受賞。2017年ロッキータウン賞受賞し、「宮里大八国際交流基金」を創設しひとり親家庭・児童養護施設等の中高生の国際交流プログラムに取り組む。
2019年、沖縄市の主幹として観光とスポーツを融合した事業やFIBAバスケットボールワールドカップ2023受け入れを統括。
2024年、(株)ジャパンエンターテイメントの事業開発部ディレクターとして「JUNGLIA OKINAWA」に参画。



ファシリテーター

名城大学 国際学部 国際観光産業学科 教授 大谷 健太郎氏

主な研究テーマは、「地域における望ましい観光のあり方」や「観光振興および観光政策形成」。県内市町村の観光振興計画の策定や、国機関の各種委員会など多く参画。沖縄に立地する大学として地域に貢献しつつ自身の研究を進展させ、そして教育にも還元するという理念のもと観光政策の分野を研究。



司会

瀧花 氏

読谷村出身。沖縄県を中心にタレント・モデル活動中。
ミス・アース・ジャパン2019 日本大会二位ミス・エアー受賞。
2019年10月～SANYO海物語のイメージガール「ミスワリン」4代目としてサンゴの保全活動に取り組んでいる。